

令和3年度決算に係る

定期監査  
決算審査  
資料

令和4年7月

福祉保健部健康医療局医療政策課



## 目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	1頁
	(2) 監査意見	1頁
	(3) 決算審査意見	1頁
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	職員の定員、現員調べ	2頁
4	役付職員の調べ	2頁
5	主な事業に関する調べ	3頁
6	決算資料(総括表)	6頁
7	事業別実施状況調べ	7頁
8	予備費の充用調べ	30頁
9	現金の取扱状況	30頁
	(1) 現金取扱状況	30頁
	(2) つり銭の状況	30頁
10	財産に関する調べ	31頁
	(1) 公有財産	31頁
	(2) 金券類の保有状況	32頁
	(3) 基金	33頁
	(4) 債権	33頁
11	財産の貸付け及び使用許可調べ	34頁
	(1) 土地及び建物	34頁
	(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの)	35頁
12	借受不動産明細調べ	36頁
13	職員駐車場の管理状況調べ	36頁
	(1) 管理状況	36頁
	(2) 減免の考え方	36頁
	(3) 使用料の見直し	36頁
14	寄附物件の受納状況調べ	36頁
15	備品の処分状況調べ	36頁
16	貸付金等状況調べ	37頁
	(1) 総括表	37頁
	(2) 償還状況	37頁
○	意見、要望等	40頁



1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

監査意見	措置状況等
<p>2 鳥取看護専門学校<sup>1</sup>の運営について</p> <p>鳥取看護専門学校は、病院における看護業務従事者の育成のみならず、今後さらに需要が増加すると予測される在宅看護の担い手育成に大きな役割を有している。一方で、毎年応募者数は定員を上回っているが、最近2年間は最終的な入学者数が定員を充足していない状況となっている。その要因として、看護職を目指す学生の大学志向がある中、看護学校の施設建設から47年を経過し建物等の経年劣化が進んでいることに加え、県内在住で看護師資格取得を目指す者にとって保護者の授業料負担が軽いことや、県立中央病院の最新鋭の医療環境を利用した教育を受けられる等の大きなメリットが十分に知られていないことが考えられる。また、今後は、ICTを活用した授業ができるような学習環境の充実も図っていく必要がある。</p> <p>ついては、今後ますます需要が増加することが予想される看護業務従事者の育成を図るため、学校の特長をより一層広報するとともに、計画的な施設・学習環境の整備を進められたい。</p>	<p>【福祉保健部健康医療局医療政策課】</p> <p>1 原因 鳥取看護専門学校の入学試験合格者のうち、他校との併願等を理由に辞退をする者がいることで、最終的な入学者が定員割れを起こしている。</p> <p>2 講じた措置等 学校の特徴のより一層広報に向けて、高校生等に進路選択の参考としていただくため、一日看護師体験事業を行うなど看護師を目指す者の掘り起しを行うとともに、看護職員養成施設進学ガイドブックを作成・配布し、県立看護学校の更なるPRに取り組んだ。</p> <p>【鳥取看護専門学校】</p> <p>1 原因 施設の老朽化による研修室の雨漏りが何年も続いている、ICTを活用する環境が整っていないなど、学習環境の整備が必要な点がある。 また、鳥取看護専門学校の特徴について広報が不十分である。</p> <p>2 講じた措置等 学習環境整備に向け、雨漏りについては、同一建物内にある養護学校も含めた改修工事を行うこととし、令和5年度中の完了に向けて計画的に進めているところである。</p> <p>＜屋上改修工事のスケジュール＞ 令和3年度 外壁診断 令和4年度 設計 令和5年度 工事</p> <p>また、校内におけるICT活用を推進するため、令和3年度に、Wi-Fi環境、タブレット端末を整備したところであり、さらなるICTの活用に向けて令和4年度に電子黒板の導入を予定している。</p> <p>学校の特徴のより一層広報に向け、高校生に対して、学校の魅力を伝えるため、コロナ禍でも対応できるようリモートを活用したオープンキャンパスや保護者会を実施した。</p> <p>オープンキャンパスでは校長(中央病院院長兼務)が動画で出演し、実習施設の魅力について参加者にアピールした。</p> <p>また、ホームページから学生の様子を、期間を限定して動画で視聴できるようにした。</p> <p>さらに、学校パンフレット等に中央病院との連携や、学費負担が少ないことなど学校のメリットを強調した内容のものを作成し県内全高校等に配布した。</p>

(3) 決算審査意見

決算審査意見	処理状況等
<p>イ 収入未済額の縮減について</p> <p>各債権所管課では、収入未済発生の未然防止や滞納初期における対応の徹底、また、滞納者への継続した督促や弁護士等への回収委託の活用など、債権管理事務取扱要領等に基づいて着実に取り組んでいると認められる。</p> <p>ついては、県税では、引き続き市町村・関係機関等と連携した滞納整理等の取組を推進するとともに、税外収入では、債権管理事務取扱要領等に沿って、収入未済発生の未然防止や滞納初期の対応など債権の適正な管理、回収に取り組まれたい。</p>	<p>収入未済額の主な内容は、看護職員修学資金返還金と理学療法士等修学資金返還金である。</p> <p>滞納者に対しては、継続的な督促を行うとともに、経済状況に応じて分割納付を勧奨するなどの取組を中心に債権管理に努めるとともに、回収が困難な案件については、早めに債権回収会社に債権回収業務を委託するなどの対応を行っている。</p> <p>また、修学資金の貸付に当たっては、案内しおり等の配布や電話等で修学生及び保護者に制度の概要と返還の仕組み等について説明を行っており、引き続き、これらの取組を通じて、収入未済額の減少と収入未済発生の未然防止に努めていく。</p>

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	4.4.1 現在	3.4.1 現在	4.4.1 現在	3.4.1 現在	4.4.1 現在	3.4.1 現在	4.4.1 現在	3.4.1 現在	
定 員	13	13	4	4	0	0	17	17	
現 員	(1)	(1)	(52)	(51)	0	0	(53)	(52)	【病気休職】1名(事務) 【派遣】52名(医師) (派遣先/人数の内訳) ・鳥取県立中央病院/16名 ・鳥取県立厚生病院/5名 ・鳥取市立病院/2名 ・佐治町診療所/1名 ・岩美病院/5名 ・智頭病院/4名 ・名和診療所/1名 ・西伯病院/2名 ・日南病院/2名 ・日野病院/3名 ・鳥取赤十字病院/1名 ・鳥取大学医学部附属病院/7名 ・米子医療センター/1名 ・山陰労災病院/1名 ・兵庫県立こども病院/1名
過不足(△)	2	3	52	49	0	0	54	52	
臨時的 任用職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
会計年度 任用職員	3	3	0	0	0	0	3	3	事務員3名

4 役付職員の調べ

(令和4年7月1日現在)

職 名	氏 名	在職期間		備 考
		年	月	
課 長	吉岐 幸子	0	3	
医療人材確保室長	福井 恒	1	3	
参 事	角田 智玲	1	3	
課 長 補 佐	山内 宏悦	2	3	
課 長 補 佐	西尾 務	4	3	
課 長 補 佐	森下 和也	2	3	4年 3月
課 長 補 佐	原 耕平	0	5	
課 長 補 佐	木原 直樹	2	3	5年 3月
課 長 補 佐	中原 広和	0	2	

5 主な事業に関する調べ

(単位:千円)

事業名	決算額	財源内訳																																									
		国庫支出金	起債	その他	一般財源																																						
医師確保奨学金等貸付事業	237,090				237,090																																						
寄附講座(鳥取大学医学部地域医療学講座)開設事業	32,167			32,167																																							
鳥取県地域医療支援センター運営事業	15,526			15,526																																							
医師確保対策推進事業	2,456				2,456																																						
将来ビジョン	-																																										
令和新時代創生戦略	03 すべての人に健康と福祉を																																										
政策項目	-																																										
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>全国的に医師不足が指摘される中、本県においても医師不足が顕在化しており、県の医療体制の維持、向上に支障を及ぼさぬよう、医師の確保を図る。</p> <p>2 事業の内容、実施状況</p> <p>(1) 医師確保奨学金等貸付事業</p> <p>将来、県内の地域医療に従事する医師の確保・養成に向け、鳥取大学医学部入学者及び県内外大学医学部在学学生に対し、修学に必要な資金の貸付けを行っている。</p> <p>更なる若手医師の県内定着を図るため、令和3年度(令和3年度編入学生)より、鳥取大学医学部医学科編入学生を奨学金(医師養成確保奨学金・一般貸付枠)の対象に追加した。</p> <p style="text-align: right;">(令和4年3月現在(単位:人))</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>奨学金の種類</th> <th>定数</th> <th>新規</th> <th>継続</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師養成確保奨学金(地域枠)</td> <td>鳥取大 5</td> <td>5</td> <td>21</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>医師養成確保奨学金(一般貸付枠)</td> <td>県内外大 10</td> <td>7</td> <td>10</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>緊急医師確保対策奨学金(特別養成枠)</td> <td>鳥取大 5</td> <td>5</td> <td>21</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">臨時特例医師確保対策奨学金(臨時養成枠)</td> <td>鳥取大 14</td> <td>14</td> <td>55</td> <td>69</td> </tr> <tr> <td>岡山大 1</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>山口大 -</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>32</td> <td>113</td> <td>145</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(県内外大新規のうち、5名が編入学生対象)</p> <p>(2) 寄附講座(鳥取大学医学部地域医療学講座)開設事業【鳥取県地域医療介護総合確保基金充当】</p> <p>奨学金を貸与した学生(地域枠学生)をはじめ医学生の地域医療マインドを醸成するため、県の寄附により平成22年度から鳥取大学医学部に地域医療学講座を開設している。</p> <p>令和3年度も引き続き地域医療に関する講義、臨床実習、地域枠学生等との面談及び研究活動等を実施した。</p> <p>(3) 鳥取県地域医療支援センター運営事業【鳥取県地域医療介護総合確保基金充当】</p> <p>地域枠医師のキャリア形成支援や医師不足病院の支援等、医師確保対策を総合的に推進するため、平成25年1月「鳥取県地域医療支援センター」を県と鳥取大学(医学部附属病院内)に設置。令和3年度も引き続き、地域枠医師との面談、初期臨床研修・勤務等への助言のほか、医師不足調査、地域枠医師データベースの作成、専門医の取得に必要な診療科別専門研修プログラムの立案への参画などの活動を行った。</p> <p>また、県内外の医学生・若手医師に、本県で医師として勤務する魅力を感じていただけるよう、本県の医療情報等を電子メール・郵送等で発信する「とっとりドクターNavi」の運営を行うとともに、鳥取県の医療状況、地域医療の魅力、県奨学金制度等を発信する広報冊子「DOCTリ！」を発刊した。</p> <p>(4) 医師確保対策推進事業</p> <p>○県と各臨床研修指定病院が連携して研修医の確保を推進するため、各臨床研修指定病院(8病院)及び県で構成する「鳥取県臨床研修指定病院協議会」に負担金を交付し、各種事業を実施した。</p> <p>○県内の医師確保を推進するため、問い合わせのあった医師に県内医療機関をあっせん・紹介した。</p> <p>○県内の医療機関の医師不足に対応するため、鳥取県医師登録・派遣システムにより、県内医療機関への派遣を行った。</p> <p>○県内外で広く活躍する、鳥取県に縁のある著名な医療関係者を鳥取県医療人材顧問として委嘱し、全国で開催される学会や研究会など様々な機会を通じて鳥取県の医療についての情報発信等をしていただいた。</p> <p>○県外医療機関における研修を通じて専門分野の医療を学び、研修後に県内医療機関で技術の伝達と後進の指導にあたっていただくため、医師1名を県外の医療機関へ派遣した。</p>						奨学金の種類	定数	新規	継続	計	医師養成確保奨学金(地域枠)	鳥取大 5	5	21	26	医師養成確保奨学金(一般貸付枠)	県内外大 10	7	10	17	緊急医師確保対策奨学金(特別養成枠)	鳥取大 5	5	21	26	臨時特例医師確保対策奨学金(臨時養成枠)	鳥取大 14	14	55	69	岡山大 1	1	5	6	山口大 -	-	1	1	合計		32	113	145
奨学金の種類	定数	新規	継続	計																																							
医師養成確保奨学金(地域枠)	鳥取大 5	5	21	26																																							
医師養成確保奨学金(一般貸付枠)	県内外大 10	7	10	17																																							
緊急医師確保対策奨学金(特別養成枠)	鳥取大 5	5	21	26																																							
臨時特例医師確保対策奨学金(臨時養成枠)	鳥取大 14	14	55	69																																							
	岡山大 1	1	5	6																																							
	山口大 -	-	1	1																																							
合計		32	113	145																																							

### 3 事業成果、改善状況、課題等

#### (1) 医師確保奨学金貸与事業

医師確保奨学金の貸与により、県内医師の確保に繋がっている。

令和4年3月末現在(単位:人)

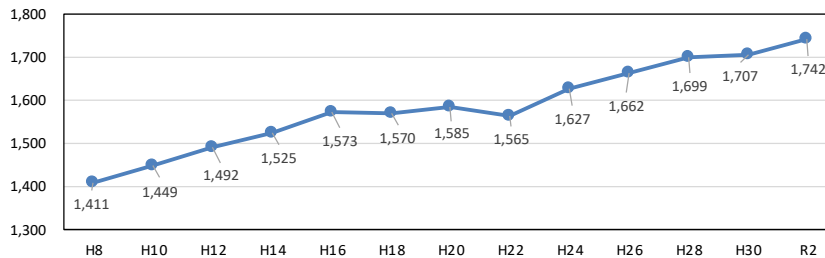
区分	人数
医学生	154
奨学金受給者卒業医師	226
指定勤務期間中の医師	147
・県内就業中	126
・県外就業(猶予期間中)	21
指定勤務期間満了者等	79
合計	380

【鳥取県の医療施設従事医師数の推移】

(単位:人)

調査年次	H8	H10	H12	H14	H16	H18	H20	H22	H24	H26	H28	H30	R2
鳥取県	1,411	1,449	1,492	1,525	1,573	1,570	1,585	1,565	1,627	1,662	1,699	1,707	1,742

※厚生労働省 医師・歯科医師・薬剤師調査(2年毎に実施)



#### (2) 鳥取大学医学部寄附講座設置事業【鳥取県地域医療介護総合確保基金充当】

地域医療に関する講義や臨床実習、個別面談等を通じて、地域枠学生をはじめとする医学生に対して地域医療に関するマインドの醸成を図ることで、地域医療に貢献する人材の育成につなげることができた。

#### (3) 鳥取県地域医療支援センター運営事業【鳥取県地域医療介護総合確保基金充当】

個別面談や意向調査の実施等により、地域病院での勤務と医師としてのキャリア形成の両立に向けた助言・支援等を行うことで、地域枠医師の県内定着につなげることができた。

#### (4) 医師確保対策推進事業

「鳥取県臨床研修指定病院協議会」として、県内外医学生等への県内病院アピールや視察支援等を行うことにより、県内病院で研修を行う臨床研修医の確保につなげることができた。

また、県内医師の県外医療機関での専門研修派遣を通じ、最新の医学的知見や手技の県内での導入につなげることができた。

#### <課題等>

- ・地域枠の効果は出ているものの、医師実数は少なく、また医師の高齢化が進んでいる。2次医療圏単位で一定の医師の確保が必要であり、引き続き医師確保に取り組む必要がある。
- ・医師確保奨学金貸付者が今後増加する中で、奨学生が奨学金の返還免除要件に沿って県内で勤務できるよう、地域医療学講座及び鳥取県地域医療支援センターと連携したきめ細かなキャリア形成支援が必要である。
- ・平成16年度の「新医師臨床研修制度」導入後、県内で初期臨床研修を希望する医師と県内臨床研修病院とのマッチ者数は減少傾向にあったが近年持ち直しつつある。「鳥取県臨床研修指定病院協議会」の取組により、引き続き、初期臨床研修医の確保に取り組んでいく必要がある。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、地域医療体験研修推進事業、次世代医師交流事業等の実施が難しくなっており、医学生に対する地域医療マインドの醸成を図る機会の提供が必要である。



5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財 源 内 訳													
		国庫支出金	起 債	そ の 他	一般財源										
鳥取県地域医療介護総合確保基金事業	638,291			638,291											
将来ビジョン		-													
令和新時代創生戦略	03	すべての人に健康と福祉を													
政策項目		-													
<p>1 事業の目的、概要 鳥取県地域医療介護総合確保基金を活用して、鳥取県地域医療構想に掲げる「必要な医療を適切な場所で提供できる体制の整備」と「希望すれば在宅で療養できる地域づくり」のための取組を進める。</p> <p>2 事業の内容、実施の状況 国より交付された「医療介護提供体制改革推進交付金」及び都道府県負担分を財源として鳥取県地域医療介護総合確保基金を造成した。(国：2/3、県1/3) また、国より示された「地域における医療及び介護を総合的に確保するための基本的な方針」に即した都道府県計画を策定し、主に以下の事業に取り組んだ。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業区分</th> <th>主な事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 地域医療構想の達成に向けた事業</td> <td>○病床機能の転換及びそれに伴う施設設備整備〔病院〕 ○医療機関同士の電子カルテ相互参照システムの運営〔NPO法人〕 など</td> </tr> <tr> <td>2 居宅等の医療提供に関する事業</td> <td>○在宅医療を提供する機関が連携するための圏域内での調整・支援及び連携拠点の整備〔各地区医師会〕 ○在宅医療推進のための訪問看護師の育成支援〔鳥大病院〕 など</td> </tr> <tr> <td>3 医療従事者の確保に関する事業</td> <td>○病院内保育所の運営〔病院内保育所運営病院〕 ○医療クラークの配置〔病院等〕 ○地域医療を担う医師のキャリア支援等を行う鳥取県地域医療支援センターの運営〔鳥大病院へ委託〕 など</td> </tr> <tr> <td>4 医師の働き方改革に関する事業</td> <td>○病院が行う医師の時間外勤務縮減のための設備整備、人材確保〔病院〕</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業成果（改善状況）、課題等 病床の機能分化・連携、在宅医療・介護の推進、医療従事者の確保や勤務環境の改善など、地域医療に係る課題解決への取組を進めることができた。</p> <p>(主な成果・効果) ※H26年度以降</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○病床転換による病床の機能分化やICTによる医療機関の連携ネットワークの整備が進んでいる。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・高度急性期・急性期から回復期への病床転換等：500床程度（H27.7→R3.7）</li> <li>・県立中央病院に「心臓病センター」「脳卒中センター」を新設（H30）し、東部圏域における高度医療機能の集約化が進んだ。</li> <li>・県立厚生病院に「がん患者支援センター」を新設（R1）したほか、鳥取赤十字病院の放射線治療棟を増築し、東部・中部におけるがん治療の医療提供体制の強化が進んだ。</li> <li>・電子カルテ相互閲覧システム「おしどりネット」の参加医療機関等の拡大：21機関（H27.3）→117機関（R4.3）</li> </ul> </li> <li>○訪問看護師等の医療従事者の養成、在宅医療（歯科）連携拠点の整備、多職種連携推進のための研修実施、在宅医療の推進に必要な施設・設備の整備等により、在宅医療を推進する上での体制整備が進んでいる。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅医療連携拠点の整備：3箇所（東部・中部・西部の各地区医師会）</li> <li>・在宅歯科医療連携拠点の整備：4箇所（県歯科医師会及び東部・中部・西部の各地区医師会）</li> <li>・県内訪問看護師数の増加：224人（H26.12）→367人（R3.6）</li> </ul> </li> <li>○院内保育所の運営や医師事務作業補助者の配置等に対する支援により、働きやすい職場環境の整備が進んでいる。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内保育所運営費の支援：8医療機関</li> <li>・医療従事者の勤務環境改善への相談窓口（勤務環境改善支援センター）の設置：1箇所（県医師会に委託）</li> <li>・病院勤務医師数の増加：1,088人（H27.1）→1,185人（R4.1）</li> <li>・病院勤務看護師数の増加：5,412人（H26.12）→6,191人（R3.6）</li> </ul> </li> <li>○病院が行う医師の時間外勤務縮減に関する取組に対する支援により、勤務医の働き方改革が進んでいる。 また、医療勤務環境改善支援センター（県及び鳥取労働局が県医師会に委託）を通じて、病院へのアドバイザー派遣を行ったほか、県として病院の実態把握を行った。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間外削減取組医療機関：1機関</li> </ul> </li> </ul> <p>(課題等) 国は地域医療構想達成のための病床転換につながるハード事業について重点的に配分する姿勢を示しており、訪問看護師養成事業や鳥取大学医学部の寄附講座など在宅医療や、人材育成のためのソフト事業に必要な財源が十分に確保できるかどうか懸念される。 また、本基金は次年度以降も継続して積み増しが予定されており、長期にわたる基金管理が必要となるため、各年度に造成した基金の執行管理を適切に行う必要がある。</p>						事業区分	主な事業内容	1 地域医療構想の達成に向けた事業	○病床機能の転換及びそれに伴う施設設備整備〔病院〕 ○医療機関同士の電子カルテ相互参照システムの運営〔NPO法人〕 など	2 居宅等の医療提供に関する事業	○在宅医療を提供する機関が連携するための圏域内での調整・支援及び連携拠点の整備〔各地区医師会〕 ○在宅医療推進のための訪問看護師の育成支援〔鳥大病院〕 など	3 医療従事者の確保に関する事業	○病院内保育所の運営〔病院内保育所運営病院〕 ○医療クラークの配置〔病院等〕 ○地域医療を担う医師のキャリア支援等を行う鳥取県地域医療支援センターの運営〔鳥大病院へ委託〕 など	4 医師の働き方改革に関する事業	○病院が行う医師の時間外勤務縮減のための設備整備、人材確保〔病院〕
事業区分	主な事業内容														
1 地域医療構想の達成に向けた事業	○病床機能の転換及びそれに伴う施設設備整備〔病院〕 ○医療機関同士の電子カルテ相互参照システムの運営〔NPO法人〕 など														
2 居宅等の医療提供に関する事業	○在宅医療を提供する機関が連携するための圏域内での調整・支援及び連携拠点の整備〔各地区医師会〕 ○在宅医療推進のための訪問看護師の育成支援〔鳥大病院〕 など														
3 医療従事者の確保に関する事業	○病院内保育所の運営〔病院内保育所運営病院〕 ○医療クラークの配置〔病院等〕 ○地域医療を担う医師のキャリア支援等を行う鳥取県地域医療支援センターの運営〔鳥大病院へ委託〕 など														
4 医師の働き方改革に関する事業	○病院が行う医師の時間外勤務縮減のための設備整備、人材確保〔病院〕														

6 決算資料

一般会計(歳入)

(単位:円)

区分	科目	予算			現額		調定額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	計	継続費及び繰越事業費	繰越財源充当額					
	衛生使用料	47,519,000	△ 1,346,000	46,173,000	0	43,018,800	43,009,400	0	9,400		
	行政財産使用料	1,135,000	0	1,135,000	0	1,151,960	1,151,960	0	0		
	衛生手数料	4,518,000	198,000	4,716,000	0	3,902,980	3,902,980	0	0		
	衛生費国庫負担金	254,611,000	107,695,000	362,306,000	0	362,306,000	362,306,000	0	0		
	衛生費国庫補助金	312,228,000	208,419,000	520,647,000	0	287,086,278	287,086,278	0	0		
歳	財産貸付収入	1,677,000	0	1,677,000	0	1,518,108	1,518,108	0	0		
	利子及び配当金	33,000	0	33,000	0	0	0	0	0		
	地域医療介護総合確保基金繰入金	771,110,000	114,062,000	885,172,000	0	783,271,253	783,271,253	0	0		
入	鳥取県医師確保奨学金収入	20,640,000	13,650,000	34,290,000	0	34,290,000	34,290,000	0	0		
	看護職員研修資金交付金収入	190,000,000	0	190,000,000	0	229,383,844	209,326,499	0	20,057,345		
	理学療法士・作業療法士修学資金貸付金元利収入	30,000,000	0	30,000,000	0	43,244,000	37,241,000	0	6,003,000		
	雑収入	13,079,000	△ 398,000	12,681,000	0	15,966,726	15,873,816	0	92,910		
	繰越金	(0)	(0)	(5,913,000)	(5,913,000)	(5,913,000)	(5,913,000)	(0)	(0)		
	繰越金	0	0	5,913,000	5,913,000	5,913,000	5,913,000	0	0		
	合計	1,646,550,000	442,280,000	2,088,830,000	5,913,000	1,811,052,949	1,784,890,294	0	26,162,655		

一般会計(歳出)

(単位:円)

区分	科目	予算			現額		支出済額 (決算額) B	支出済額の内訳		翌繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C
		当初予算額	補正予算額	計	継続費及び繰越事業費	繰越額		本庁	出納機関		
	一般管理費	0	0	0	25,300,000	25,300,000	25,300,000	0	0	0	0
	医務費	(0)	(0)	(5,913,000)	(0)	(5,913,000)	(5,913,000)	(0)	(0)	(0)	(0)
	保健師等指導管理費	2,106,683,000	306,407,000	2,413,090,000	△ 1,258,801	2,224,593,382	2,221,870,708	2,722,674	23,150,000	170,000,817	
	病院費	747,845,000	162,902,000	910,747,000	0	708,899,291	708,853,991	45,300	194,037,000	6,518,449	
	鳥取看護専門学校費	3,117,520,000	△ 6,725,000	3,110,795,000	0	3,110,252,745	3,110,252,745	0	0	542,255	
	倉吉総合看護専門学校費	20,494,000	1,188,000	21,682,000	0	18,875,266	18,875,266	0	0	2,517,959	
	合計	32,266,000	△ 282,000	31,984,000	2,839,836	34,823,836	33,898,904	0	33,898,904	0	924,932
	合計	6,024,808,000	463,490,000	6,488,298,000	(0)	6,121,819,588	6,066,277,444	55,542,144	217,187,000	180,504,412	

7 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予算現額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、 不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A					
【一般管理費】										
鳥取方式在宅療 養体制整備事業	0	0	0	25,300,000	25,300,000	25,300,000	0	0	100%	新型コロナウイルス感染症患者のうち、在宅療養者に対し、訪問看護ステーションや診療所による健康観察を実施し、安心して在宅で療養できる体制を確保した。
目計	0	0	0	25,300,000	25,300,000	25,300,000	0	0	100%	
【医務費】										
(医療行政費)										
医療機関管理費	845,000	△ 297,000	0	0	548,000	466,200	0	81,800	85.1%	鳥取県医療審議会を開催し、高度救命救急センターの指定等について審議したほか、その他医療政策について検討した。また、令和2年度に中間見直しを行った鳥取県保健医療計画のHP掲載用ファイルの版下を作成した。 ・鳥取県医療審議会の開催（第1回：令和3年12月17日、第2回：令和4年3月15日）
精度管理諸経費	103,000	0	0	0	103,000	40,800	0	62,200	39.6%	衛生検査所における検査精度の向上を図り、適正な医療を確保するため、鳥取県精度管理委員会を開催し、県内の衛生検査所への検査等を実施した。  不用額3割以上の理由：新型コロナウイルスの感染拡大により一部の委員会の開催を見合わせたため。

事業名	予算現額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、 不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A					
臨床検査精度管 理推進費	600,000	0	0	0	600,000	600,000	0	0	100.0%	(公社)鳥取県医師会が行う外部精 度管理調査事業に要する経費の一部 (検査試薬代等)を補助した。 また、医師会が開催する臨床検査精 度管理委員会に係る経費の一部(人 件費、運営費)を補助した。
地域保健医療推 進費	387,000	△ 147,000	0	0	240,000	0	240,000	0.0%	保健医療圏毎(中部地区、西部地 区)に設置している地域保健医療協 議会(全体会・専門部会)におい て、鳥取県保健医療計画等の推進に 関する協議を行う。 不用額3割以上の理由：令和3年度 の協議会は未開催だったため。	
地域医療対策推 進費	776,000	△ 389,000	0	0	387,000	306,000	0	81,000	79.1%	医療関係者等で構成する地域医療対 策協議会を開催し、医療従事者の確 保、医療機関の連携の推進等につい て検討した。 ・地域医療対策協議会の開催(第1 回：令和3年12月13日、第2回：令 和4年3月18日)
鍼灸等資格者施 術所証明書作成 事業	35,000	0	0	△ 35,000	0	0	0	0	0.0%	「△35,000は医療政策課管理運営費 へ流用」 あん摩マッサージ指圧師等の有資格 者が開設し届出した施術所につい て、希望者に施術所届出済証明書 (木製看板)を発行する。 不用額3割以上の理由：令和3年度 は希望者がなかったため。

事業名	予算現額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、 不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A					
災害医療対策推進費	2,711,000	△ 500,000	0	2,400	2,213,400	734,290	0	1,479,110	33.2%	「2,400は移植医療推進事業から流用」  災害医療コーディネーター及び協定締結団体が、災害時に適切な災害応急対応ができるよう、必要な知識、技能等を学ぶ鳥取県災害医療コーディネーター研修を実施した。  不用額3割以上の理由：新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ、オンライン研修に切り替えたことから、開催経費が大幅な減となったため。
とっとり医療情報ネット運営事業	1,253,000	0	0	1,074,000	2,327,000	2,326,225	0	775	100.0%	「1,074,000は看護職員等充足対策費から流用」  インターネット上で県民の方に医療機関等の情報提供を行う「とっとり医療情報ネット」の保守管理等の委託を行った。
死因究明等推進費	72,000	0	0	0	72,000	71,400		600	99.2%	死因究明等推進協議会を開催し、国及び県の死因究明に関する施策の共有・協議を行った。 ・鳥取県死因究明等推進協議会の開催：令和4年3月29日
小計	6,782,000	△ 1,333,000	0	1,041,400	6,490,400	4,544,915	0	1,945,485		

(単位：円)

事業名	予算現額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A					
令和3年度鳥取 県地域医療介護 総合確保基金造 成事業(医療 分)	381,918,000	161,543,000	0	0	543,461,000	543,461,000	0	0	100.0%	鳥取県地域医療介護総合確保基金の令和3年度計画分(医療分)を造成した。
地域医療対策費 (医療施設等設 備整備費)	75,340,000	54,143,000	0	0	129,483,000	128,548,000	0	935,000	99.3%	医療施設等において必要な設備整備に要する経費を補助した。
地域医療対策費 (医療施設等施 設整備費)	79,513,000	△ 76,801,000	0	0	2,712,000	2,712,000	0	0	100.0%	医療施設等において必要な施設整備に要する経費を補助した。
地域医療対策費 (医療施設等運 営事業費)	44,512,000	0	0	0	44,512,000	44,307,000	0	205,000	99.5%	○救急救命士病院実習受入促進 事業 救急救命士に対する気管挿管の 実地実習を受け入れる病院に対 し、指導医の人件費等運営費に ついて補助した。  ○周産期母子医療センター運営 事業 周産期母子医療センターの診療 機能、病床数及び過酷な勤務状 況にある医師、看護師等の確保 や処遇改善等に必要な周産期母 子医療センターの充実強化のた め、センターの運営に必要な経 費について補助した。  ○救急患者退院コーディネー ター事業 急性期を脱した救急患者の円滑 な転床・転院を促進し、救急医 療用病床の有効活用及び医師等 の負担軽減を図るため、医療機 関に対して、救急患者退院コー ディネーターの配置に要する費 用を補助した。

(単位：円)

事業名	予算現額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A					
移植医療推進事業	14,415,000	0	0	△ 2,400	14,412,600	12,601,452	0	1,811,148	87.4%	「△2,400は災害医療対策推進費 へ流用」  (公財)鳥取県臓器・アイバン ク業務の円滑な遂行を図るた め、運営費に対して助成した。 また、骨髄移植医療の県民の理 解を深めるため、骨髄ドナー助 成の支給及び登録会の開催など 普及啓発を行った。
県立歯科衛生専 門学校費	56,796,000	0	0	0	56,796,000	56,796,000	0	0	100.0%	鳥取県立歯科衛生専門学校の運 営を行った。(一社)鳥取県 歯科医師会へ委託)
周産期医療対策 事業	4,459,000	0	0	△ 70,150	4,388,850	2,567,652	0	1,821,198	58.5%	「△70,150は入院医療トリアー ジセンター設置事業へ流用」  安心、安全な周産期医療提供体 制の整備に向け、搬送コーデ ィネーターの配置等を行うととも に、協議会を開催(令和3年9月2 日)した。  不用額3割以上の理由：搬送コー ィネーター配置に係る委託経 費の実績額が減となったため。
有床診療所等ス プリンクラー等 施設整備事業	99,323,000	△ 75,652,000	0	0	23,671,000	5,521,000	18,150,000	0	23.3%	施設の防火対策を推進するた め、医療機関が行うスプリンク ラー等の設置に係る経費を補助 した。  【繰越理由】新型コロナウイルス の感染拡大により、鳥取県内 においても特措法に基づく県外 往来自粛の協力要請が発出さ れ、県外の施工業者に委託して いる施設において、工事が予定 より延期となり、年度内の竣工 が不可能となったため。

(単位：円)

事業名	予算現額				支出額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減					
原子力災害医療 体制整備事業	21,322,000	0	0	△ 100,000	21,222,000	12,277,518	0	57.6%	「△100,000」は医療政策課管理運 営費へ流用」 県が整備した放射線測定機器等 の維持管理を行い、原子力災害 時の医療体制の整備を図った。 不用額3割以上の理由：新型コロナ ウイルス感染症のまん延状況 を踏まえ、原子力災害医療研修 が未実施だったこと等による。
外国人患者に対 する医療提供体 制整備事業	313,000	0	0	0	313,000	102,508	0	32.8%	コロナ禍においても、外国人患 者の受入体制の充実を図るた め、多言語に対応した翻訳機器 を整備する医療機関等（11施 設）に対して補助した。 不用額3割以上の理由：申請件数 が想定より少なかったため。
へき地医療対策 費	133,521,000	0	0	0	133,521,000	132,683,000	0	99.4%	へき地等の医療の確保及び向上 のために高度な医療能力を有す る医師を養成することを目的に 全道道府県の出資により設立さ れた自治医科大学に運営費負担 金を支出した。 また、へき地の地域住民に係る 医療や保健指導の確保充実を図 るため、へき地医療拠点病院や へき地保健指導所の運営に必要 な経費を補助した。
災害派遣医療 子一△体制整備 事業	7,405,000	△ 6,385,000	0	0	1,020,000	373,000	0	5.0%	不用額3割以上の理由：新型コロナ ウイルス感染症の感染拡大に 伴い、DMAT隊員等の医療従事者 が参加する研修等が見込みより も少なかったため。



(単位：円)

事業名	予算現額				支出額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減					
救急医療対策事業	3,691,000	0	0	0	2,739,000	0	952,000	74.2%	安全なドクターカーの緊急走行のために必要な、熟練した運転要員の確保に要する人件費等を補助した。 事業者：鳥取大学医学部附属病院 救急医療の現場で働く医師・看護師・救急救命士等の資質向上を図るため、例年、県医師会が実施しているJPTEC(外傷現場活動指針)研修及びACLS(二次救命処置)は、新型コロナウイルスの影響により中止。
ドクターヘリ運航事業	111,235,000	22,273,000	0	△ 446,688	122,533,049	0	10,528,263	92.1%	「△507,228は医療政策課管理運営費へ、30,020は入院医療トリアーゼンター設置事業から、30,520は小児在宅療養体制強化事業から流用」 関西広域連合が運航する鳥取県ドクターヘリ、公立豊岡病院ドクターヘリ及び鳥根県が運航する鳥根県ドクターヘリの運航経費に係る負担金を支出した。 鳥取県ドクターヘリ格納庫の維持管理に必要な経費を支出した。 鳥取県が運航する医師搭乗型消防防災ヘリコプターの運航経費に係る保険料を支出した。
おとなの救急電話相談事業	2,817,000	△ 972,000	0	0	1,830,430	0	14,570	99.2%	不用額1千万以上の理由：公立豊岡病院ドクターヘリ及び鳥根県ドクターヘリの出動件数が想定よりも少なかったため。 救急車の適正利用、救急医療機関の適正受診及び県民等の安心の確保を図るため、おとなの救急電話相談事業(#7119)を運用した。 (令和3年度実績) 電話相談件数：1,231件 委託先：株式会社法研

(単位：円)

事業名	予算現額				支出額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減					
災害派遣医療 チーム(DMAT) 訓練実施事業	4,840,000	△ 4,840,000	0	0	0	0	0	0.0%	不用額3割以上の理由：新型コロナウイルス感染症の感染拡大を踏まえ、DMAT隊員等の医療従事者が参集して実施する研修(研修には実働が必要)の開催を見送ったため。
入院医療トリ アージセクター 設置事業	16,808,000	0	0	△ 6,078,526	10,729,474	0	10,548,274	1.7%	「△30,020はドクターヘリ運行事業へ、△3,470,992は医療政策課管理運営費へ、△2,647,664は鳥取方式在宅療養体制整備事業へ、70,150は周産期医療対策事業から流用」 各医療分野の専門医師等の協力の下、新型コロナウイルス感染症の入院患者の広域的(保健医療圏外、県外)な入院調整のため重症度を区分(トリアージ)するトリアージセンターを運営し、入院可能な医療機関の把握と、入院調整や患者搬送の調整を行った。 不要額3割以上の理由：圏域を越えた入院調整の件数が見込みより少なかつたため。 (感染者数の急増に対応できるよう多めに予算を確保したことによる。)
(主) 医師確保 対策推進事業	5,023,000	△ 1,330,000	0	0	3,693,000	0	1,237,360	66.5%	主な事業に関する調べのとおり 不用額3割以上の理由：新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業(医学生サマー・スプリングセミナー等)があったため。
(主) 医師確保 奨学金等貸付事 業	246,840,000	△ 9,750,000	0	0	237,090,000	0	237,090,000	100.0%	主な事業に関する調べのとおり

(単位：円)

事業名	予算現額				支出額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減					
医療政策管理 運営費	12,361,000	0	0	3,401,731	15,762,731	0	0	100.0%	「507,228はドクターヘリ運行事業から、100,000は原子力災害医療体制整備事業から、3,470,992は入院医療トリアージセンター設置事業から、35,000は鍼灸等資格者施術所証明書作成事業から、946,949は小児在宅療養体制強化事業から、143,623は鳥取方式在宅療養体制整備事業から、△1,000は准看護師試験等実施費へ、△1,801,061は倉吉総合看護専門学校管理運営費へ流用」 ○広域災害救急医療情報システム (EMIS) 使用料 5,280,000円
持続可能な地域 医療構想推進事 業	130,255,000	△ 803,000	0	11,850,000	141,302,000	0	611,600	99.6%	「11,850,000は看護師等養成所運営事業から流用」 ○救急搬送、災害時などに医療関係者がネットワークから必要な情報を収集し、迅速に適切な医療提供を行うことができるよう医療機関同士の電子カルテの相互参照システム「おしどりネット」の機能拡充(救急患者対応機能、モバイルデバイス対応機能等)に要する経費を補助した。 ○地域医療構想調整会議(西部圏域、令和3年10月28日)を開催し、構想区域における地域医療構想の推進に向けた協議を行った。 ※コロナの影響により、中部圏域での開催なし。

(単位：円)

事業名	予算現額				支出額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減					
鳥取方式在宅療 養体制整備事業	0	119,973,000	0	7,437,980	109,155,384	0	18,255,596	85.7%	「2,647,664は入院医療トリアー ジセンター設置事業から、 4,933,939は小児在宅療養体制整備 事業から、△143,623は医療政 策課管理運営費へ流用」  新型コロナウイルス感染症患者 のうち、在宅療養者に対し、訪 問看護ステーションや診療所に よる健康観察を実施し、安心し て在宅で療養できる体制を確保 した。  不用額1千万以上の理由：在宅療 養者が見込みよりも少なかつた ため。 (感染者数の急増に対応できる よう予算を確保)
小児在宅療養体 制強化事業	0	12,000,000	0	△ 5,911,408	1,457,265	0	4,631,327	23.9%	「△30,520はドクターへり運行 事業へ、△946,949は医療政策課 管理運営費へ、△4,933,939は鳥 取方式在宅療養体制整備事業へ 流用」  iPad・iPhoneを小児科かかりつ け医へ貸与し、在宅療養中の小 児コロナ患者をオンラインで健 康観察できる体制を整備した。  不用額3割以上の理由：iPad等を 中古端末のリースにより調達し たこと等による所要経費の減。

(単位：円)

事業名	予算現額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減 (主)鳥取県地域医療介護総合確保基金事業					
医療情報ネットワーク整備事業	(0) 4,223,000	(0) 0	(1,073,000) 1,073,000	(0) 0	(1,073,000) 5,296,000	(0) 0	(0) 0	100.0%	医療機関の相互ネットワークの構築により、病院・診療所間の切れ目のない医療情報連携を可能とするため、鳥取県医療情報ネットワーク「おしどりネット」の保守経費を補助した。
精神科医療機関機能分化推進事業	(0) 189,935,000	(0) 0	(4,840,000) 4,840,000	(0) 559,000	(4,840,000) 195,334,000	(0) 0	(0) 0	100.0%	「559,000は病床の機能分化・連携推進基盤整備事業から流用」 精神科医療機関の機能分化を図るための施設整備費に対して補助した。
病床の機能分化・連携推進基盤整備事業	35,000,000	9,170,000	0	△ 559,000	43,611,000	0	23,752,000	45.5%	「△559,000は精神科医療機関機能分化推進事業へ流用」 病床の機能分化、連携を推進するための施設・設備整備に対して補助した。
在宅医療連携拠点事業	15,000,000	0	0	0	15,000,000	0	268,000	98.2%	不用額3割以上の理由：病院の病床転換計画が要望時から変更され、補助対象額が減額となったため。 各地区医師会が、在宅医療を提供する機関が連携するための圏内での調整、支援を行い、在宅医療を提供する機関の連携拠点的かつ継続的な在宅医療の提供体制を構築するための経費を補助した。
在宅歯科医療拠点・支援体制整備事業	20,000,000	△ 884,000	0	0	19,116,000	0	2,157,000	88.7%	在宅歯科医療を推進するため、鳥取県歯科医師会等に設置された在宅歯科医療連携室の運営費を補助した。
在宅医療推進のための看護師育成支援事業	16,000,000	0	0	0	16,000,000	0	97,000	99.4%	在宅医療・看護の推進を図るため、在宅医療を意識した新卒看護師等の育成等に対して補助した。

(単位：円)

事業名	予算現額				支出額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減					
訪問看護支援センター事業	13,030,000	0	0	0	13,030,000	0	0	100.0%	訪問看護師の養成、訪問看護ステーションへのコンサルテーション、県民への普及啓発等を実施した。(県看護協会に委託)
医療介護連携のための多職種連携等研修事業	4,445,000	△ 2,383,000	0	0	2,062,000	0	1,505,000	27.0%	在宅医療に係る関連職種(医師、歯科医師、看護師、理学療法士等)の理解を深めるための多職種連携研修や各専門職の質の向上に資する研修、在宅医療・介護の連携を担うコーディネーターを育成するための研修等を開催する医療関係団体等に對して補助した。
病床の機能分化・連携推進のための研修事業	1,000,000	△ 840,000	0	0	160,000	0	160,000	0.0%	不用額3割以上の理由：新型コロナウイルスの感染拡大のため、一部事業者が事業を中止又はオンライン開催としたこと等の理由により、実績額が減ったため。 急性期病院と回復期病院の機能分化、在宅医療の普及啓発に関する研修を行う医療機関等に対して補助する。
訪問看護師確保支援事業	43,747,000	3,973,000	0	0	47,720,000	0	13,313,000	72.1%	不用額3割以上の理由：新型コロナウイルスの影響により予定された事業が中止となったため。 訪問看護職員養成講習会に看護職員を参加させる施設に対し、人件費の助成等を行った。 不用額1千万以上の理由：新人訪問看護師の採用実績が県内より少なく、同行訪問支援事業についても見込より少なかったため。

(単位：円)

事業名	予算現額				支出額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減					
勤務環境改善支 援センター運営 事業	6,545,000	0	0	0	4,641,833	0	1,903,167	70.9%	鳥取県医師会に委託し、医療機 関に対する勤務環境改善マネジ メント導入支援、PDCAサイクル を活用した勤務環境改善支援等 を実施した。 また、勤務医の時間外労働及び 病院における労務管理の現状を 把握するため、県内の全病院に 対し医師の働き方改革に向けた 時間外労働に係る実態調査及び 訪問支援を実施した。
(主) 鳥取県地 域医療支援セン ター運営事業	21,983,000	0	0	0	15,525,336	0	6,457,664	70.6%	主な事業に関する調べのとおり
(主) 寄附講座 (鳥取大学医学 部地域医療学講 座) 開設事業	36,900,000	0	0	0	32,166,786	0	4,733,214	87.2%	主な事業に関する調べのとおり
鳥取県女性医師 就業支援事業	1,888,000	0	0	0	1,742,944	0	145,056	92.3%	育児等で一時的に業務を離れた 女性医師が復帰するための研修 プログラムを実施するとともに に、教育や交流を通じて女子医 学生や女性医師の就業継続への 意欲を高め、女性医師が継続し て働きやすい環境を整備するた め、鳥取大学に事業を委託し 行った。
臨床研修指導医 講習会開催事業	1,500,000	△ 323,000	0	0	1,175,800	0	1,200	99.9%	質の高い臨床研修環境を確保す るため、厚生労働省が定める基 準を満たす指導医講習会の開催 を鳥取県臨床研修指定病院協議 会に委託し実施した。 (受講者数49名)

(単位：円)

事業名	予算現額				支出額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減					
臨床研修医セミナー 十一開催事業	840,000	△ 690,000	0	0	50,000	0	100,000	33.3%	本県の臨床研修の魅力を増し臨床研修医の確保を推進するため、著名な講師を招聘し、臨床研修医を対象とするセミナーを鳥取県臨床研修指定病院協議会に委託し実施した。(受講者数81名) 不用額3割以上の理由：開催回数 の減(1回)及び講師謝金・旅 費並びの会場費の減によるもの。
周産期医療に関 わる専門的ス タッフの養成事 業	4,100,000	0	0	569,000	4,669,000	0	0	100.0%	「569,000は産科医等確保支援事 業から流用」 周産期医療の充実を図るため、 入院患者の家族支援を行う臨床 心理士の確保に要する経費を補 助した。
病院内保育所運 営事業	34,900,000	△ 3,931,000	0	0	29,385,000	0	1,584,000	94.9%	看護師等医療従事者の離職防止 及び再就業を促進するため、病 院内で保育所を運営する医療機 関にその運営費の補助を行っ た。
看護師等養成所 運営事業	62,008,000	△ 10,588,000	0	△ 11,850,000	36,365,000	0	3,205,000	91.9%	「△11,850,000は持続可能な地 域医療提供体制構築推進事業へ 流用」 県内の看護師等養成施設に対 し、運営費の補助を行った。
新人看護職員研 修事業	12,621,000	△ 2,089,000	0	△ 30,000	10,490,000	0	12,000	99.9%	「△30,000は実習指導者養成支 援事業へ流用」 基本的な臨床実践能力を獲得す るための研修を実施する病院等 に補助した。



(単位：円)

事業名	予算現額				支出額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減					
認定看護師及び 認定看護管理者 養成研修受講補 助事業	7,000,000	0	0	0	2,615,000	0	4,385,000	37.4%	認定看護師及び認定看護管理者 養成研修に研修派遣を行う医療 機関に対して、研修費の一部を 助成した。  不用額3割以上の理由：受講者数 が見込よりも少なかったため。
看護師の特定行 為研修受講補助 事業	5,000,000	0	0	0	3,129,000	0	1,871,000	62.6%	看護師の特定行為研修の受講に 要する旅費、受講料、実習費を 補助した。  不用額3割以上の理由：新型コロナ の影響により県外研修の受講 者数が減となるなど、当初見込 よりも減となったため。
看護職員実習指 導者養成講習会 開催事業	6,168,000	0	0	0	6,167,175	0	825	100.0%	病院等における看護実習の指導 者を養成するための講習会の開 催を鳥取県看護協会へ委託し た。
実習指導者養成 支援事業	2,120,000	△ 938,000	0	30,000	1,212,000	0	0	100.0%	「30,000は新人看護職員研修事 業から流用」  看護学生への臨地実習指導を充 実させるため、実習受入施設に 対し実習指導者養成に係る経費 を助成した。
看護教員の質の 向上支援事業	1,008,000	0	0	0	833,054	0	174,946	82.6%	県内の看護師養成所の教育の質 の向上を図るため、看護教員に 対する研修を実施した。

(単位：円)

事業名	予算現額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減					
看護教員養成支 援事業	6,234,000	△ 4,396,000	0	0	1,752,000	0	86,000	95.3%	不足している県内の看護師等養成施設の看護教員の確保及び看護教員の資質向上のため、看護教員養成講習会受講に係る経費を助成した。
助産師資質向上 支援事業	400,000	0	0	0	282,000	0	118,000	70.5%	助産師の実践能力向上のための研修会の開催に係る経費を補助した。
医師等環境改善 事業	18,900,000	3,199,000	0	0	15,620,000	0	6,479,000	70.7%	医師、看護師の勤務環境改善のため、医師事務作業補助者、看護師事務作業補代行職員の増員として、医療機関が新たに採用・配置を行った場合の人件費等に要する経費を補助した。
産科医等確保支 援事業	14,044,000	△ 1,192,000	0	△ 770,000	10,358,000	0	1,724,000	85.7%	「△569,000は周産期医療に関わる専門的スタッフの養成事業へ、△127,000は新生児医療担当医確保支援事業へ、△74,000は救急勤務医支援事業へ流用」 分娩を取り扱う産科・産婦人科医及び助産師の処遇改善を目的として、医療機関が、分娩取扱件数に応じて支給する分娩手当及び帝王切開に要する費用を補助した。

(単位：円)

事業名	予算現額				支出額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減					
助産師等待機手 当支援事業	3,000,000	△ 234,000	0	0	2,766,000	0	1,515,000	45.2%	分娩を取り扱う助産師・看護師の処遇改善を目的として、医療機関が、勤務時間外に支給する呼出待機手当に要する経費を補助した。
新生児医療担当 医確保支援事業	416,000	0	0	127,000	543,000	0	543,000	100.0%	「127,000は産科医等確保支援事業から流用」 NICUの新生児担当医の処遇改善を目的として、NICUに入院する新生児に応じて医師に支給される手当に要する経費を補助した。
救急勤務医支援 事業	5,600,000	0	0	74,000	5,674,000	0	5,674,000	100.0%	「74,000は産科医等確保支援事業から流用」 二次救急医療機関に勤務する救急医の処遇改善を目的として、医療機関が、休日・夜間において支給する救急勤務医手当に要する経費を補助した。
小児救急医療支 援事業	1,410,000	△ 201,000	0	0	1,209,000	0	1,209,000	100.0%	市町村が行う小児救急医療に係る休日・夜間の診療体制の整備に必要な経費を補助した。
小児救急地域医 師研修事業	461,000	0	0	0	461,000	0	118,175	74.4%	小児科医・内科医向けの研修を実施し、地域の小児救急医療体制の補強・質の向上を図った。

(単位：円)

事業名	予算現額				支出額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減					
小児救急電話相談事業	14,053,000	△ 4,829,000	0	△ 327,990	8,870,470	0	25,540	99.7%	「△327,990は倉吉総合看護専門学校管理運営費へ流用」 小児保護者の安心確保・救急医療機関の負担軽減を図るため、小児救急電話相談事業（#8000）を運用した。 〈令和3年度実績〉 運用日数：365日 電話相談件数：3,726件 委託先：ティーパーペック株式会社
県民への適正受診啓発事業	2,940,000	0	0	△ 202,750	2,168,100	0	569,150	79.2%	「△202,750は倉吉総合看護専門学校管理運営費へ流用」 小児救急ハンドブック・リーフレットを配布し、県民に対して医療機関の適正受診啓発を図った。
地域医療連携研修会開催支援事業	7,302,000	0	0	0	605,930	0	6,696,070	8.3%	4疾病6事業に関して、地域の医療機関連携のもと実施する資質向上等のための研修会等の開催に要する経費を補助した。 不用額3割以上の理由：新型コロナウイルスの影響による研修会等の中止や規模縮小により事業費が減ったため。
勤務医の労働時間短縮に向けた体制の整備支援事業	23,940,000	34,090,000	0	0	58,030,000	0	0	100.0%	医師の働き方改革を推進するため、医療機関が行う勤務医の労働時間短縮のための体制整備に要する経費を補助した。

(単位：円)

事業名	予算現額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減					
地域医療支援病院・がん診療連携拠点病院等の歯科保健推進事業	0	396,000	0	0	129,000	0	267,000	32.6%	地域医療支援病院やがん診療連携拠点病院における歯科保健診療に必要な設備整備に対して補助した。
急性期医療充実施設設備整備事業	0	67,124,000	0	0	45,915,000	5,000,000	16,209,000	68.4%	【繰越理由】海外から輸入し整備予定だった設備が、ロシアのウクライナ侵攻により空運ルートを変更せざるを得なくなり、年度内の完了ができなかったため。
訪問歯科衛生士養成支援事業	0	856,000	0	0	402,000	0	454,000	47.0%	不用額3割以上の理由：新型コロナウイルスの影響により、事業者が要望を取り下げたため。
在宅医療推進事業	0	17,431,000	0	0	12,779,000	0	4,652,000	73.3%	訪問看護・在宅医療の充実、精神科在宅復帰等を推進するため、訪問診療、訪問看護、リハビリテーション等に必要設備整備に要する経費を補助した。

(単位：円)

事業名	予算現額				支出額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減					
在宅歯科診療設 備整備事業	0	32,000	0	0	32,000	0	32,000	0.0%	在宅歯科診療を実施する医療機 関に対して在宅歯科診療に必要 な医療機器等の備品の購入費を 補助する。
在宅医療(薬 剤)の研修充実 に向けたシステ ム整備等事業	0	3,575,000	0	0	3,575,000	0	880,000	75.4%	不用額3割以上の理由：新型コロナウイルス のウィルスの影響により、事業 者が要望を取り下げたため。
女性医師就業 環境整備事業	0	404,000	0	△ 17,000	387,000	0	21,000	94.6%	「△17,000は看護教育教材整備 事業へ流用」 女性医師が働きやすい環境整備 を促進することにより、就業の 継続、復職を支援するため、女 性医師の就業環境の改善、充実 に必要なハード事業の実施経費 を補助した。
看護教育教材整 備事業	0	5,301,000	0	17,000	5,318,000	0	0	100.0%	「17,000は女性医師就業環境整 備事業から流用」 看護職員の養成に必要な図書・ 教材の整備を行う事業主体に対 して補助した。
歯科衛生士復職 支援事業	0	841,000	0	0	841,000	0	111,000	86.8%	出産・育児等の理由で離職した 未就業歯科衛生士の復職支援の ための研修会に要する経費を、 地区歯科医師会に対して補助し た。
預金利息等	1,533,000	1,467,000	0	0	2,917,985	0	82,015	97.3%	鳥取県地域医療介護総合確保基 金の預金運用益等の積立に係る 経費
目計	2,106,683,000	306,407,000	(5,913,000)	△ 1,258,801	2,417,744,199	23,150,000	170,000,817	92.0%	

(単位：円)

事業名	予算現額					支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A					
【保健師等指導管理費】										
保健師等教育研修 事業	1,381,000	0	0	0	1,381,000	155,656	0	1,225,344	11.3%	進展する保健医療と住民のニーズが複雑化・多様化していることに対応するため保健師等に対し知識・技術獲得のための研修等を実施した。 不用額3割以上の理由：新型コロナウイルス感染症の影響により研修会が中止等となったため。
准看護師試験等実施費	955,000	0	0	1,000	956,000	239,880	0	716,120	25.1%	「1,000は医療政策課管理運営費より流用」 保健師助産師看護師法施行令に基づき、鳥取県准看護師試験を実施した。また、新規交付申請・書き換え交付申請・再交付申請に対し、准看護師免許証を交付した。 不用額3割以上の理由：新型コロナウイルス感染症の影響により、受験者数が大幅に減少したため。
看護職員研修補助 事業	2,600,000	0	0	0	2,600,000	2,600,000	0	0	100.0%	公益社団法人鳥取県看護協会による各種研修の実施に対して支援を行うことで、県内の看護職員の資質向上を図った。

(単位：円)

事業名	予算現額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減					
助産師出向支援事業	1,321,000	0	0	0	484,595	0	836,405	36.7%	医療機関における助産師就業の偏在や助産師実践能力の向上等を図るため鳥取県看護協会に委託し事業を実施した。 不用額3割以上の理由：助産師出向支援事業委託の精算による請負差額
看護職員等充足対策費	739,338,000	△ 31,135,000	0	△ 1,293,260	704,246,760	0	2,662,980	95.3%	「△1,074,000はとっとり医療情報ネット運営事業へ、△219,260は倉吉総合看護専門学校管理運営費へ流用」 県内に就業する看護職員等の確保及び離職防止のため、修学資金の貸付け、病院内保育施設の運営費補助等を行った。
認定看護師養成研修事業（単県）	2,250,000	0	0	0	1,172,400	0	1,077,600	52.1%	県内の看護現場における質の向上を図るため、認定看護師養成研修に対する補助を行った。 不用額3割以上の理由：受講人数3名の予定だったが、実際には2名しか受講しなかったため。
看護職員処遇改善交付金	0	194,037,000	0	0	0	194,037,000	0	0.0%	地域でコロナ医療など一定の役割を担う医療機関に勤務する看護職員等を対象に、令和4年2月から賞金改善等を行う医療機関に対し補助を行う。 【繰越理由】国事業が全額令和4年度に繰り越しされたため。
目計	747,845,000	162,902,000	0	△ 1,292,260	708,899,291	194,037,000	6,518,449	78%	



(単位：円)

事業名	予算現額				支出額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業の計画と実績・成果、不用 額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減					
【病院費】									
自治体病院補助事業	85,841,000	0	0	0	85,840,572	0	428	100.0%	山間へき地の適正な医療を確保するため、当該地域に公立病院を設置する町に対し、病院整備事業企業債の返還利息の1/2を助成した。 対象病院：岩美病院、智頭病院、西伯病院、日南病院、日野病院
県立病院運営事業	3,031,679,000	△ 6,725,000	0	0	3,024,412,173	0	541,827	100.0%	地方公営企業法に基づき、県立病院に関する運営費等の必要経費を一般会計から病院事業会計に繰入れを行った。
目計	3,117,520,000	△ 6,725,000	0	0	3,110,252,745	0	542,255	100.0%	
【鳥取看護専門学校費】									
鳥取看護専門学校 管理運営費	20,494,000	1,188,000	0	△ 288,775	18,875,266	0	2,517,959	88.2%	「△288,775は倉吉総合看護専門学校管理運営費へ流用」 鳥取看護専門学校の管理運営に要する経費
目計	20,494,000	1,188,000	0	△ 288,775	18,875,266	0	2,517,959	88.2%	
【倉吉総合看護専門学校費】									
倉吉総合看護専門学校 管理運営費	32,266,000	△ 282,000	0	2,839,836	33,898,904	0	924,932	97.3%	「1,801,061は医療政策課管理運営費から、219,260は看護職員等充足対策費から、327,990は小児救急電話相談事業から、202,750は県民への適正受診啓発事業からは、288,775は鳥取看護専門学校管理運営費から流用」 倉吉総合看護専門学校の管理運営に要する経費
目計	32,266,000	△ 282,000	0	2,839,836	33,898,904	0	924,932	97.3%	
合計	6,024,808,000	463,490,000	5,913,000	25,300,000	6,121,819,588	217,187,000	180,504,412	93.9%	
	(0)	(0)	(5,913,000)	(0)	(5,913,000)	(0)	(0)		
			5,913,000	25,300,000	6,121,819,588	217,187,000	180,504,412		

8 予備費の充用調べ  
該当なし

9 現金の取扱状況

(1) 現金取扱状況

(単位:円)

収入科目(節)	収入金額	件数(件)	備考
衛生手数料	11,600	3	准看護師免許証書換交付手数料等
合計	11,600	3	

(2) つり銭の状況

該当なし

10 財産に関する調べ  
 (1)公有財産  
 了 土地

(令和4年3月31日現在)

財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況					本年度末		備考	
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m <sup>2</sup> )		価額(円)
行政財産	中央病院関連用地	鳥取市江津字西皆竹318-1 他	29,860.51	不明	増加						29,860.51	不明	
	倉吉看護専門学校	倉吉市南昭和町15	11,220.88	234,245,095	増加						11,220.88	234,245,095	
計	鳥取県ドクターヘリ格納庫等	境港市佐斐神町1500-4	1,096.71	5,030,000	増加						1,096.71	5,030,000	
			42,178.10	239,275,095	減少			0.00			42,178.10	239,275,095	
普通財産	中央病院関連用地	鳥取市江津字西皆竹318-1、土橋370-1	5,415.71	不明	増加						5,415.71	不明	
計			5,415.71	0	減少			0.00			5,415.71	0	
合計			47,593.81	239,275,095				0.00			47,593.81	239,275,095	

イ 建物

(令和4年3月31日現在)

財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況					本年度末		備考	
			面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減別	異動日	面積(m <sup>2</sup> )	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m <sup>2</sup> )		価額(円)
行政財産	倉吉総合看護専門学校	倉吉市南昭和町15	5,959.64	645,676,016	増加						5,959.64	645,676,016	
	鳥取看護専門学校	鳥取市江津260	1,524.15	205,727,434	減少						1,524.15	205,727,434	
計	鳥取看護専門学校(自転車小屋)	鳥取市江津260	19.08	3,219,700	増加						19.08	3,219,700	
	歯科衛生専門学校	鳥取市吉方温泉3丁目751-5	832.29	220,185,759	減少						832.29	220,185,759	
合計	鳥取県ドクターヘリ格納庫等	境港市佐斐神町1500-4	395.10	263,652,830	増加						395.10	263,652,830	
			8,730.26	1,338,461,739	減少			0.00			8,730.26	1,338,461,739	
			8,730.26	1,338,461,739				0.00			8,730.26	1,338,461,739	

- ウ 山林 該当なし
- エ 不動産売却等 該当なし
- オ 財産の交換 該当なし
- カ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし
- キ 物権 該当なし
- ク 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等) 該当なし
- ケ 有価証券 該当なし
- コ 出資による権利

(令和4年3月31日現在)

区 分	前年度末 (数量、金額)	本 年 度 中		本年度末 (数量、金額)	法 人 名	備 考
		増	減			
出資	円 198,000,000	円 0	円 0	円 198,000,000	学校法人自治医科大学	
出資	52,640,000	0	0	52,640,000	公益財団法人鳥取 県臓器・アイバンク	
合 計	250,640,000	0	0	250,640,000		

(2)金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和4年3月31日現在)

前年度未使用枚数	本年度中		本年度未使用枚数	備考
	購入枚数	使用枚数及び金額		
枚 115	枚 0	枚 1 円 730	枚 113	書き損じにつき1枚処分

(3) 基金

(令和4年3月31日現在)

種別	前年度末	本年度中		本年度末	備考
		増	減		
鳥取県地域医療介護総合確保基金	円 3,108,146,649	円 546,378,985	円 616,455,333	円 3,038,070,301	出納整理期間を含む年度末現在高: 2,243,436,304円
合計	3,108,146,649	546,378,985	616,455,333	3,038,070,301	

(4) 債権  
決算資料提出DBで確認できるため省略

11 財産の貸付け及び使用許可調べ  
(1) 土地及び建物  
ア 土地

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先住氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	電力供給に伴う配電線施設	鳥取市江津字土橋370-1	電柱1、支線1	H31.4.1~R6.3.31	H元.4.1	H31.4.1~R6.3.31	年額 3,000	3,000	鳥取市新品治町1-6 中国電力(株)鳥取営業所長	更新 文書ID:18-00318603
		鳥取市秋里字松下617-4	電柱1	H31.4.1~R6.3.31	H元.4.1	H31.4.1~R6.3.31	年額 1,500	1,500		
		鳥取市江津字土橋370-1	電柱2、支線1	H31.4.1~R6.3.31	S60.4.1	H31.4.1~R6.3.31	年額 4,500	4,500		
		鳥取市江津字西皆竹330-1	電柱1、支線1	H31.4.1~R6.3.31	H6.9.13	H31.4.1~R6.3.31	年額 3,000	3,000		
		鳥取市秋里651-3	電柱1、支柱1	H31.4.1~R6.3.31	H28.9.21	H31.4.1~R6.3.31	年額 3,000	3,000		
行政財産	電力供給に伴う配電線施設	鳥取市秋里651-3	配電線4条	R3.4.1	H28.10.3	R3.4.1~R8.3.31	年額 1,500	1,500	鳥取市新品治町1-6 中国電力(株)鳥取営業所長	更新 文書ID:20-00265198
		鳥取市秋里707-1 鳥取市江津330-1 鳥取市秋里651-3	電柱11 支線9 支柱5 管路5.2m	H29.7.10	H29.7.10	H30.10.1~R4.3.31	年額 39,000	39,000		
		鳥取市秋里707-1 鳥取市江津330-1 鳥取市秋里651-1	支線7	H30.10.1	H30.10.1	H30.10.1~R4.3.31	年額 10,500	10,500		
		鳥取市江津字土橋318-1	ガス本管15.4m	H31.3.6	S60.4.1	H31.4.1~R6.3.31	年額 7,540	7,540		
		鳥取市秋里字東皆竹707-1 鳥取市秋里字松下649 鳥取市秋里字松下651-1 鳥取市江津字西皆竹330-1	電柱9、支線6、 支柱4	H29.10.24	S63.4.1	H29.10.24~R4.3.31	年額 28,500	28,500		
計							102,040			
普通財産	鳥取県赤十字血液センター用地 看護研修センター用地 ガス供給のための施設装置 電力供給に伴う配電線施設	鳥取市江津西皆竹318-1ほか	4,110.71㎡	R2.4.1	S55.12.24	R2.4.1~R5.3.31	無償	無償	広島市中区千田町二丁目5番5号 日本赤十字社中四国ブロック血液センター	更新 文書ID:19-00300333
		鳥取市江津西皆竹318-1	1,302.00㎡	R2.4.1	H2.4.10	R2.4.1~R22.3.31	年額 1,461,625 ※3年ごとに設定	1,461,625		
		鳥取市江津西皆竹318-1	ガス本管5.5m、 ガバナー室2.99㎡	H31.3.8	H13.8.1	H31.4.1~R6.3.31	年額 7,540	7,540		
		鳥取市江津字土橋370-1 鳥取市江津西皆竹318-1	ガス本管74m、 ガバナー室7.4㎡	H31.3.8	H4.8.17	H31.4.1~R6.3.31	年額 47,443	47,443		
		鳥取市江津西皆竹318-1	電柱1	H31.1.22	H11.4.1	H31.4.1~R6.3.31	年額 1,500	1,500		
計							1,518,108			
合計							1,620,148			

イ 建物  
該当なし

(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住所	氏名			
歯科診療椅子(ユニットー式)	2	スペーススラインスピリットタイプCU-370	R3.4.1 ～ R4.3.31	月額・年額 無償	無償	鳥取市吉方温泉3丁目751-5 一般社団法人鳥取県歯科医師会	鳥取市吉方温泉3丁目751-5 一般社団法人鳥取県歯科医師会	県立歯科衛生専門学校	授業等で必要な物品を貸し付けるため	
歯科診療椅子(ユニットー式)	4	ヨシダ ノバセリオ ステップタイプ2型	R3.4.1 ～ R4.3.31	月額・年額 無償	無償	鳥取市吉方温泉3丁目751-5 一般社団法人鳥取県歯科医師会	鳥取市吉方温泉3丁目751-5 一般社団法人鳥取県歯科医師会	県立歯科衛生専門学校	授業等で必要な物品を貸し付けるため	
歯科診療椅子(ユニットー式)	1	シグノタイプG20	R3.4.1 ～ R4.3.31	月額・年額 無償	無償	鳥取市吉方温泉3丁目751-5 一般社団法人鳥取県歯科医師会	鳥取市吉方温泉3丁目751-5 一般社団法人鳥取県歯科医師会	県立歯科衛生専門学校	授業等で必要な物品を貸し付けるため	
歯科診療椅子(ユニットー式)	1	モリタスペーススラインスピリットVXT	R3.4.1 ～ R4.3.31	月額・年額 無償	無償	鳥取市吉方温泉3丁目751-5 一般社団法人鳥取県歯科医師会	鳥取市吉方温泉3丁目751-5 一般社団法人鳥取県歯科医師会	県立歯科衛生専門学校	授業等で必要な物品を貸し付けるため	
合計					0					

12 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は積面	契約の状況			借受先		備考
					契約書の有無	借受期間	借料(円) 単価 本年度の借料	住所 氏名	備考	
土地	宅地	鳥取県立歯科衛生専門学校	鳥取市吉方温泉三丁目751番5	1655.08㎡	有	H21.7.15 ～ H22.3.31 (自動更新)	月額・年額 無償	鳥取県鳥取市吉方温泉3丁目751-5 一般社団法人鳥取県歯科医師会		
合計				1655.08㎡					0	

13 職員駐車場の管理状況調べ 該当なし

14 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

15 備品の処分状況調べ

(令和4年3月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	(保管機年月日) 取得年月日	不 用 決 定 年 月 日	処 分			備考
			売却 棄却 の別	売却方法・ 棄却理由	処 分 年 月 日	
超音波歯石除去器(フ ランスサテレック社 スプランP2)	S60. 11. 15					
ワイヤレスアンプ (TOA WA-1802 マ イク W1210)	H18. 2. 22	R3. 3. 22	売却	老朽化のため	R3. 3. 22	円 0
ワイヤレスアンプ (TOA WA-1802 マ イク W1210)	H18. 2. 23					
合計						円 0



16 貸付金等状況調べ  
(1)総括表

貸付金の名称	貸付先	貸付額			本年度(元金ののみ)			本年度末 現在貸付残高 (A+B)-(C+D+E)	備考
		前年度末現在 貸付残高 (A)	本年度 貸付額 (B)	償還額 (C)	不納欠損額 (D)	償還免除額 (E)			
看護職員修学資金貸付金	看護師等養成施設在学生	3,390,440,485	540,957,000	189,485,499	0	188,090,034	3,553,821,952		
看護職員奨学金	鳥取大学医学部保健学科看護専攻 地域枠入学生	391,147,750	57,240,000	19,841,000	0	13,440,000	415,106,750		
理学療法士等修学資金貸付金	理学療法士、作業療法士及び言語療法 士養成施設在学生	846,900,847	80,268,000	37,241,000	0	4,680,000	885,247,847		
医師養成確保奨学金	鳥取大学医学部地域枠入学者等医学 部在学生	639,000,000	57,240,000	9,840,000	0	8,640,000	677,760,000		
臨時特別医師確保対策奨学金	鳥取・岡山・山口大学医学部鳥取県枠 入学者	958,500,000	134,850,000	5,550,000	0	0	1,087,800,000		
鳥取県医師海外留学資金貸付金	卒後10年目程度の若手医師	56,600,000	0	0	0	0	56,600,000		
緊急医師確保対策奨学金	鳥取大学医学部特別養成枠入学者	433,800,000	45,000,000	18,900,000	0	0	459,900,000		
臨床研修医研修資金貸付金	特定診療科従事希望初期臨床研修医	12,000,000	0	0	0	7,200,000	4,800,000		
合計		6,728,389,082	915,555,000	280,857,499	0	222,050,034	7,141,036,549		

(2)償還状況

区分	貸付額		本年度			本年度末		備考
	前年度末現在貸付残高 (A)	本年度貸付額 (B)	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (C-D-E)	
元金	3,390,440,485	540,957,000	17,969,545	2,460,600	0	188,090,034	15,508,945	
			191,513,299	187,024,899	0	0	4,488,400	
			209,482,844	189,485,499	0	188,090,034	19,997,345	
利子			0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	
合計			209,482,844	189,485,499	0	188,090,034	19,997,345	

(看護職員奨学金) (単位:円)

区分	貸付額		本年度					本年度末		備考
	前年度未現在貸付残高 (A)	本年度貸付額 (B)	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (C-D-E)	償還期未到来分 (A+B)-(C+F)		
元金	391,147,750	57,240,000	0	0	0	13,440,000	0	415,046,750		
小計			19,901,000	19,841,000	0	0	60,000			
過年度分			0	0	0	0	0			
現年度分			19,901,000	19,841,000	0	0	60,000			
小計			0	0	0	0	0			
利息			0	0	0	0	0			
小計			0	0	0	0	0			
合計			19,901,000	189,485,499	0	13,440,000	60,000			

(理学療法士等修学資金貸付金) (単位:円)

区分	貸付額		本年度					本年度末		備考
	前年度未現在貸付残高 (A)	本年度貸付額 (B)	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (C-D-E)	償還期未到来分 (A+B)-(C+F)		
元金	846,900,847	80,268,000	6,043,000	437,000	0	4,680,000	5,606,000	879,245,847		
小計			37,200,000	36,804,000	0	0	396,000			
過年度分			43,243,000	37,241,000	0	4,680,000	6,002,000			
現年度分			0	0	0	0	0			
小計			0	0	0	0	0			
合計			43,243,000	37,241,000	0	4,680,000	6,002,000			

(医師養成確保奨学金) (単位:円)

区分	貸付額		本年度					本年度末		備考
	前年度未現在貸付残高 (A)	本年度貸付額 (B)	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (C-D-E)	償還期未到来分 (A+B)-(C+F)		
元金	639,000,000	57,240,000	0	0	0	0	0	677,760,000		
小計			9,840,000	9,840,000	0	8,640,000	0			
過年度分			9,840,000	9,840,000	0	8,640,000	0			
現年度分			0	0	0	0	0			
小計			0	0	0	0	0			
合計			9,840,000	9,840,000	0	8,640,000	0			

(臨時特別医師確保対策奨学金) (単位:円)

区分	貸付額		本年度					本年度末		備考
	前年度末現在貸付残高 (A)	本年度貸付額 (B)	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (C-D-E)	償還期未到来分 (A+B)-(C+F)		
元金	958,500,000	134,850,000	0	0	0	0	0	1,087,800,000		
利息			5,550,000	5,550,000	0	0	0	0		
			5,550,000	5,550,000	0	0	0	0		
			0	0	0	0	0	0		
			0	0	0	0	0	0		
			0	0	0	0	0	0		
合計			5,550,000	5,550,000	0	0	0	0		

(鳥取県医師海外留学資金貸付金) (単位:円)

区分	貸付額		本年度					本年度末		備考
	前年度末現在貸付残高 (A)	本年度貸付額 (B)	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (C-D-E)	償還期未到来分 (A+B)-(C+F)		
元金	56,600,000	0	0	0	0	0	0	56,600,000		
利息			0	0	0	0	0	0		
			0	0	0	0	0	0		
			0	0	0	0	0	0		
			0	0	0	0	0	0		
			0	0	0	0	0	0		
合計			0	0	0	0	0	0		

(緊急医師確保対策奨学金) (単位:円)

区分	貸付額		本年度					本年度末		備考
	前年度末現在貸付残高 (A)	本年度貸付額 (B)	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (C-D-E)	償還期未到来分 (A+B)-(C+F)		
元金	433,800,000	45,000,000	18,900,000	18,900,000	0	0	0	459,900,000		
利息			18,900,000	18,900,000	0	0	0	0		
			0	0	0	0	0	0		
			0	0	0	0	0	0		
			0	0	0	0	0	0		
			0	0	0	0	0	0		
合計			18,900,000	18,900,000	0	0	0	0		

(単位:円)

区分	貸付額		本年度					本年度末		備考
	前年度末現在貸付残高 (A)	本年度貸付額 (B)	収入調定額 (C)	償還額 (D)	不納欠損額 (E)	償還免除額 (F)	収入未済額 (C-D-E)	償還期未到来分 (A+B)-(C+F)		
元金	12,000,000	0	0	0	0	0	0	0	4,800,000	
利子			0	0	0	7,200,000	0	0		
			0	0	0	0	0	0		
			0	0	0	0	0	0		
			0	0	0	0	0	0		
			0	0	0	7,200,000	0	0		
			0	0	0	0	0	0		

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する意見・要望等

特になし